



ひとりひとりに、未来を発掘。

京葉学院



ライオン校

京葉学院がライオン施設の名前をつけました。
私たちは、千葉市動物公園を応援しています。

住所: 千葉市中央区新千葉2-8-7 TEL: 043-244-1010

ツイッターのお知らせ

飼育係の撮影した写真やリアルタイムな園内の情報などなど千葉市動物公園公式Twitterアカウント @ChibaZoo
フォロワー数現在87,580(11月30日現在)




アクセス

- 開園時間 午前9時30分～午後4時30分まで
(最終入園:午後4時まで)
- 休園日 毎週水曜日
(水曜日が休日の場合は翌日)
- 入園料 ◆大人(高校生以上)…700円
◆中学生以下…無料
- お得な年間パスポート**
◆大人…2,500円

団体割引: 有料人数30名以上で2割引
- 駐車場 ◆普通車700円 ◆大型車2,800円
(閉門時間:午後5時)

2016年4月から入園料と
休園日が変わりました

●<http://www.city.chiba.jp/zoo/>





お車の場合
 ・東京方面からは 京葉道路穴川I.Cより市街方面に約3km
 ・市原方面からは 京葉道路穴川東I.Cより市街方面に2km
 ・成田方面からは 東関東自動車道路千葉北I.Cより千葉方面へ約7km

モノレールの場合
 ・千葉都市モノレール動物公園駅直結
 (乗車時間)・千葉駅より約12分・都賀駅より約5分
 ・千葉みなと駅より約16分

スマホをかざしてびっくり

下記アプリをダウンロードして表紙を
スキャンすると「オリジナルフォトフレーム」が
ダウンロードできます






2017年10月末現在の飼育数		
哺乳類	59種	601点
鳥類	59種	269点
爬虫類	8種	50点
両生類	1種	2点
魚類	4種	508点
総計	131種	1430点

動物公園サポーターの募集

千葉市動物公園を応援していただける個人、法人サポーターを募集しています。
寄附金は個人1口1,000円、法人1口10,000円で何口でも寄附いただけます。
寄附していただいたお金は動物たちのエサ代や園内サービスの充実に使われます。

特典

- 1 当園オリジナルグッズ
- 2 サポーターズデーへのご招待
- 3 動物公園に関する情報のご提供

問い合わせ先 電話043-252-7566

どうぶつこうえんニュース第104号 平成29年12月15日発行
編集・発行 千葉市動物公園 ちばZOO編集委員会
〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 Tel 043-252-1111(代) Fax 043-255-7116

●動物取扱業名称/千葉市動物公園 園長 石田 聡 ●所在地/千葉市若葉区源町280 ●種別/展示・貸出・保管・販売
●登録番号/展示 第50015号・貸出 第30016号・保管 第20200号・販売 第10205号
●登録年月日/展示・H29.7.30 貸出・保管・販売 H28.11.7 ●有効期間の末日/展示 H34.7.29 貸出・保管・販売 H33.11.6 ●動物取扱責任者/高木淳子



どうぶつこうえん ニュース

プレーリードッグ



No. 104

2017 Winter

千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

目次 contents

- ・Director's Eye **1**
- ・アカテタマリン **2**
- ・往くレッサーパンダ、来るレッサーパンダ
- ・今年の出来事 **3 4**
- ・GO!GO!ボランティア **5**
- ・森由民の「おすすめ千葉ZOO」
- ・楽しく学べる動物公園をめざして **6**
- ・続報!ニホンイシガメの保護飼育



ふれあい動物の里
わくわく アニマルタッチ
wakuwaku Animal Touch

NEW OPEN
アニマルタッチハウス

うさぎと一緒に遊んだり、抱っこができます。



料金 15分 300円



乗馬・ポニー乗馬

小さいお子様から大人まで気軽に楽しめる乗馬体験。親子で2人乗りもできます。



料金 乗馬…1周 500円～ ポニー乗馬…1周 300円～

えさやり



料金 1回 100円～

うさんぽ



料金 10分 300円

Director's Eye

動物園の認証制度



環境省では、野生動物の保護のために動物園との協力を強めようとしている。野生動物の保護は、通常野生に生息する動物を保護することに他ならないが、自然の状態がそれを許さない場合や、すでに動物園にもってきてしまっている場合など、野生の区域以外で保護活動をする必要がある。それを「域外」保全といい、典型的な施設が動物園である。また動物園には動物を飼育して、繁殖させる技術もあることから、動物園との協力体制を整える必要もあるのだろう。例えば、トキなどを自然に戻したときのことを考えてもらえばいい。佐渡島のトキセンターと東京都の動物園が協力してトキの飼育下での繁殖をして、それ



を放鳥した。このように飼育施設を活用して野生動物の保護をしているのだが、その関係を確立しようというものだ。動物園法などの法的整備をすることも考えられたが、いくつ

かの障害があって、現行の「種の保存法」を改正して、動物園を環境省の政策に位置付けることになった。それが動物園の認証制度である。すでに今年の5月に法改正は終わっていて、現在、政令とか規則とか細部の詰めを行っている段階で、たぶん来年早々には実施に移すことになると思われる。どういう動物園が認証されるかといえば、環境省の進めている種の保存事業に参加していることが最低条件になる。当園はゴリラやオランウータンをはじめ数十種にわたって保存事業に関わっているの、認証されるであろうが、国からの認証によって、社会的な信用が高まるのはありがたいことで、これは当園だけではなく、動物園全体の社会的地位が上がることを意味する。実は動物園を支える法律は日本には現存しないので、初めての法律による位置づけとなる。

千葉市動物公園 園長 石田 戡(おさむ)

アカタマリン

動物科学館2F小型サル類の展示室において、21年ぶりにアカタマリンの展示が再開されました。

この個体は、日本モンキーセンターと静岡市立日本平動物園より来園しました。

日本の動物園では、小型サル類の飼育種が減っている中、継続して飼育が続けられるように各地の小型サル類の飼育園が協力をして繁殖に取り組んでいます。



アカタマリンはブラジル北部、ガイアナ、フランス領ギアナ、スリナムなどの熱帯雨林に生息している小型のサルです。全身は黒い長い毛で覆われていて、耳が大きく先端がとんがっているという所とアカテと名前にあるように手足の先端が赤みのかった黄色をしているのがとても目立ちます。

この小型のサルは、昼行性でほとんどを樹上で生活し、野生では果実、花、鳥の卵、昆虫や樹液などを食べています。

このペアは、とても仲が良く展示場の中を2頭で動き回っています。止まってじっと見ていると好奇心旺盛なので近寄ってきてこちらを観察するように見に来ます。ちょっと足を止め、観察してみてもいいかな～？

今後、赤ちゃんの姿が見られるのも近いかな～？

さらに是非とも両親、兄弟、姉妹で協力して子育てする微笑ましい姿を再び、見られるといいのにな～と願っています。

飼育第一班 石井 信一



往くレッサーパンダ、来るレッサーパンダ

レッサーパンダといえば平成16年に来園し風太ブームを巻き起こした「風太」です。彼が来る前の昭和60年からレッサーパンダを当園では飼育していましたが、繁殖は成功していませんでした。

風太と翌平成17年来園した「チィチィ」が平成18年に初めて繁殖に成功したのです。それ以降毎年のようにレッサーパンダの赤ちゃんが見られるようになりました。その後は息子のクウタ(平成20年生まれ)と平成23年来園したメイメイに引き継がれ、約10年間で15頭が繁殖しました。15頭うち11頭の風太とチィチィ(残念ながら平成27年死亡)の子どもや孫たちは希少動物であるレッサーパンダの繁殖に貢献するために、北海道から九州に到る全国の動物園に移動しました。そして各地で繁殖に成功して、平成28年には風太の玄孫(やしゃご)まで誕生しました。

当園でも次世代の繁殖を目指し、みい(平成25年生まれ)のお婿さんとして西海国立公園九十九島動植物園からライム(平成26年生まれ)を移動して展示を始めました。1月から3月ぐらいまでがレッサーパンダの繁殖期ですのでそれぐらいにはいっしょに展示したいと思っています。



みなさん、ライムをよろしく！

飼育第二班 濱田 昌平



4月 ゾウが産卵?

4月1日(土)未明、アジアゾウの赤ちゃんが卵を産みました。ゾウの産卵は大変珍しく、言い伝えでは野生下で1000年に一度産卵が行われると言われていたが、飼育下での産卵は世界的にも報告事例はありません。来年はなにがでてくるかな?



エイプリルフール

5月 CZP 動物総選挙17

4月29日から5月6日まで8日間行われ、ハシビロコウがトップでゴール! 2位のコツメカワウソに大差をつけ圧巻の2連覇を達成しました。



ハシビロコウがV2

動かない鳥
働き方改革実現を
ハシビロコウ

8月 ドリームナイト

8月23日(水)、夏休み最後のプレゼントとして、18歳までの障害を持つ方と、その家族を無料で招待する「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」第8回が開催され、約750名が参加しました。



ゾウの餌やりの時間に、記念撮影

9月・10月 動かない鳥 ハシビロコウ を54時間生中継

アニメ「けものフレンズ」の声優陣から「フェネック」役の本宮佳奈さん、「アライグマ」役の小野早稀さん、「フンボルトペンギン」役の築田行子さん、「ハシビロコウ」役の小森未彩さんをゲストに迎えた「千葉市動物公園体験」をお届けしました。このコーナーでは声優陣が自由に話しながら千葉市動物公園でいきもの飼育体験を行ったり、クイズラリーに挑戦しながら様々ないきものと触れ合いました。ニコニコ生放送で生中継致しました。



ハシビロコウさん
54時間生中継



陣が自由に話しながら千葉市動物公園でいきもの飼育体験を行ったり、クイズラリーに挑戦しながら様々ないきものと触れ合いました。ニコニコ生放送で生中継致しました。

「けものフレンズ」クイズラリー

9月16日から10月15日まで、園内に5種類のクイズパネルを設置し、全5問に回答した方には「けものフレンズ」と千葉市動物公園の限定コラボグッズをプレゼントしました。また、キャラクターパネルを園内に10種類以上設置してパネル探しや写真撮影などが楽しめました。



©けものフレンズプロジェクト

「けものフレンズ」声優トークショー

10月9日、コラボを記念して「コツメカワウソ」役の近藤玲奈さん、「フンボルトペンギン」役の築田行子さん、「ジェンツーペンギン」役の田村響華さんが出演のトークショーを開催。お客様と一緒に飼育員出題の動物クイズにも挑戦しました。



6月～11月 「ライオンにヘチマ100本プロジェクト」を立ち上げました!

6月23日(金)にライオンの歯の健康のために、動物公園内のほか、市内教育施設などでも歯を磨くためのヘチマを育ててもらい、動物公園のライオンたちに分けていただくという「ライオンにヘチマ100本プロジェクト」を立ち上げました。



トウヤクんのヘチマ観察日記

動物公園のホームページで、ライオンの飼育担当者による「トウヤクんのヘチマ観察日記」を連載



11月10日に各小学校から集まったヘチマタワシの数は458本。贈呈式が終わってから、ライオンの担当者によるお話と、ライオンがヘチマタワシで作ったボールに飛びついて遊ぶ姿を小学生に見てもらいました。

11月 ZOOフェスタ 今年も盛り上がりました!!

11月3日～5日に動物ファンのための年に一度の文化祭が開催されました。メインの「アニマルコスプレコンテスト」や参加者が自慢の作品を展示即売する「ギャラリー部門」、ステージで披露する「パフォーマンス部門」など、今年の流行を取り入れた演出もあり、見ている人たちを楽しませてくれました。



赤ちゃんが生まれました



奇跡の25年ぶりの出産
ナマケモノ 名前 テラス



ミーアキャットの4つ子ちゃん



アメリカバイソン 名前 ラテ



クロザル 名前 ラン

ドラマロケ情報

ドラマ「オトナ高校」の撮影地に動物公園が使われました。

撮影 西口ゲート、キリン、レッサーパンダ前
場所 (次回から園内エキストラも募集あるかも?)

ベビーカー寄付いただきました

子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」様より、生後1ヶ月から使えるアプリカ社製のコンパクトベビーカー「Nano smart(ナノスマート)」1台を寄贈いただきました。



GO!GO! ボランティア!!

「絵本のおはなし会」

絵本のおはなし会は、毎週土曜日に動物科学館の図書室で絵本の読み聞かせを行っています。活動が続ける中で、「いつもお客様を待っているだけでは無く、外に行って読み聞かせが出来たら良いな」と思い始めました。

そんな時に、「世界バクの日」に、バクの展示場の前で絵本を読みませんか」というお話があり、初めて青空の下で多くのお客様においで頂いて読み聞かせを行う事が出来ました。



とても楽しい時間が過ぎたので、次は私たちが企画してお客様と楽しい時間を過ごしたいと思うようになり、動物公園の援助の元「8月のライオン ～ライオンとあそぼう～」を開催する事が出来ました。

ライオンのサンバイザーの塗り絵から始まり、レクチャールームで沢山のお客様に参加して頂いた「アレンくん出てきて」という寸劇を行いました。その後で絵本の読み聞かせを行い、楽しい時間を過ごせました。

冬にも何かしたいと考えていた所、12月23日のライオンのトウヤ君の誕生日のお祝いのお手伝いをする事になりました。

絵本の読み聞かせを行います。小さなお客様の為に「手遊び」も考えています。そして、一番大切なトウヤ君の誕生日のバースデーケーキを作ります。そのケーキに使うデコレーションの果物やお星様などは参加して下さるお客様に塗り絵で作って頂き、みんなで飾りたいと考えています。お祝いのメッセージカードも書いて頂きます。トウヤ君のお友達のアレン君や風太君も駆けつけてくれるかもしれません。みんなで「ハッピーバースデー」の歌を歌いましょう。そして、トウヤ君がお祝いのお肉をもらうのを見に行きます。

想像しただけでワクワクします。楽しいお祝いになります。是非参加して下さい。

工藤 恵美子

おすすめ 森田民の 千葉ZOO

「ハッカンのと花鳥茶屋」

ハッカンは中国南部やインドシナに分布するキジ科の鳥で、当園では今春からオス一羽が赤・黒・白の羽色を取り合わせた印象的な姿を見せています。白地の部分には細かな黒い筋があり、繊細さを添えています。



室町時代(1454年)の書物にも名が見え、古くから日本に渡来していたようです。江戸時代にはクジャクなどとともに見世物になっていたともあります。クジャクを代表とする鳥類を中心に人々が動物観覧と飲食を楽しんだ江戸時代の「花鳥茶屋」は、わたしたち日本人の「動物園の原点」とも言われています。美しいハッカンは花鳥茶屋でも目玉のひとつだったのでしょう。

しかし、花鳥茶屋のようなものから科学的基盤を意識した近代的動物園への変容は、明治以降に欧米のシステムが移入されるのを待たなければなりません。

動物への好奇心からそれを科学的に探究する目へ……日本の伝統を担いながら、明治以降ヨーロッパに学んで発展してきた日本の動物園の歴史をハッカンの姿の向こうに想っていただくのもよろしいかと思います。

参考にした文献＝磯野直秀(2007)「明治前動物渡来年表」『慶應義塾大学日吉紀要・自然科学』。



楽しく学べる 動物公園をめざして

— 動物公園ならではの学習支援 —

当園では、来園者に動物の生態や魅力を楽しんでいただくイベント等のほか、園外でも飼育員や獣医、ボランティアが学校を訪問する出張授業を行っています。本年度は全16校の小学校に伺う活動が進行中です。ここでは幸町小学校での様子について紹介します。

☞《2年「動物への興味関心を高める」》

「ゴリラとレッサーパンダに、どのエサをあげようか？」ずらりと並んだエサのサンプルから選ぶ活動が授業の始まりです。「ゴリラはヨーグルトも食べるんだ。」と驚きの声。

十分に興味が高まった所でDVD「動物の食事風景」の視聴です。その後、「トナカイの角やゾウの歯や牙、色々な卵や羽」のグループと「色々な動物のえさと糞」のグループに分かれて、実際に標本に触ったり解説を聞いたりしました。新しい発見に目を輝かせる子ども達の姿が印象的でした。



☞《6年「キャリア教育・環境教育」》



「動物園の仕事」と「動物保全活動ーボルネオ島のオランウータンのつり橋づくりー」のお話でした。「動物園の仕事は動物にも人にも役立って素晴らしいと思った。」「オランウータンが減少し、その保全をしていると知り、自分の生活を見直したいと思った。」など、授業の成果を感じる感想も得られました。

当園では出張授業の他に、校外学習当日に「園内授業」も可能です。各学校と相談しながら、子どもたちが視点をもって有意義な動物観察の一時を過ごせるように動物公園ならではの学習支援を進めていきたいと思ひます。

教育コーディネーター 鵜澤 和生

続 報! ニホンイシガメの保護飼育



前号で、ニホンイシガメの生息域外保全についてお伝えしましたが、そのときにご紹介した卵が孵化しました!

ニホンイシガメも、ウミガメなどと同じように陸地に穴を掘って産卵するのですが、飼育下では取り出して人工孵化させます。卵を入れたケースは、親が掘った穴と同じように、温度変化の少ない場所で管理します。

鳥類の卵でも行われますが、暗い部屋で強い光を当てると、中身を透かして見ることができます(検卵といいます)。定期的に検卵し、ちゃんと育っているか確認します。血管が見えてきたり体のようなものが見えてきたり、見るたびに変化があってワクワクします。孵化の数週間前には、しっかりとカメの形が分かるようになります。産卵からぴったり2ヶ月後の9月16日の朝、ひょっこり手足や頭が出てきました!



仔ガメにとっては卵から出てくるのも大仕事。アニメのように飛び出すわけではありません。3日ほどかけて、ジタバタしたり休憩したりしつつ、卵から全身が出てきます。生まれたばかりの仔ガメには「へその緒」のようなものがあります。ヨークサックといい、栄養の詰まった袋のようなものです。自然下ではヨークサックが吸収されてから地上に出てきます。元気に泳ぎだすのは、このヨークサックが吸収されてからです。孵化から数日、ヨークサックの吸収が終わった仔ガメたちを、



浅く水を張った水槽に入れると、ちゃんと泳いだり歩いたりしています。その数日後にはエサも食べ始めました。生ま

れながらに、自分で生きる術を心得ているんですね。

10月21日から子ども動物園の飼育センターで公開飼育しています。ぜひ様子を見に来てあげてくださいね。(ニホンイシガメ保護対策事業は、子ども動物園委託事業者・自然教育研究センターが行っています)

自然教育研究センター 青山 正志

